



防災体験学習施設

そなエリア東京に行ってきました！



そなエリア東京は有明の「東京臨海広域防災公園」内にある防災体験学習施設です。

1階に災害体験ゾーン、2階には防災学習ゾーンが配置されています。首都直下地震についての学習、地震発生後を生き抜くヒントや備えておきたい防災用品の紹介、防災ゲームの展示などがあります。

東京直下72hTOUR

「東京直下72hTOUR」は、首都直下地震の発生から避難までの流れを体験するアトラクション型の体験ツアーで、首都直下地震発生後「72時間」の生存力をつけることを目的としています。

駅ビルのエレベーター内でマグニチュード7.3の地震に遭遇したという設定で、さまざまな危険と隣り合わせの被災した町を歩いていきます。その際の留意点についてクイズ形式で学習していきます。



とてもリアルに被災した町が再現されています！

《そなエリアを視察した感想》

外出時に被災した場合、どのような事が起こり、その時どのような行動を取ることが最善なのか具体的に知ることができました。家族と離れ離れになってしまった場合、周りの人と助け合わなければならないということを改めて実感しました。

とても貴重な体験ができますので、是非たくさんの方に足を運んでいただきたいと思います。



BJ☆プロジェクト
監修

「日頃の備え」を リニューアルしました！

BJ☆プロジェクトでは、大規模な災害が発生した時の行動や、いつ起きるかわからない災害に対する日頃からの備え、備蓄のポイント、知っているといざという時に役立つ防災豆知識などを記載した「日頃の備え」を令和2年11月にリニューアルしました。

今回のリニューアルで、感染症に配慮した備蓄のポイントや災害発生時における避難先の確認手順、市川市公式LINEアカウントに防災機能が追加されたことなど、最新の情報を盛り込みましたので、是非ご一読ください！（HPからもご覧になれます）



「日頃の備え」に記載している情報の一例を紹介します♪



BJ☆プロジェクト考案 『防災ポーチ』

防災ポーチは災害時に必要と思われる最低限の物資を入れ、携帯するものです。「日頃の備え」のアイテム例を参考にご自身で備えてみましょう！

感震ブレーカーについて



感震ブレーカーは、地震発生時に揺れを感知して自動的に電気を止める器具です。木造住宅が密集している本市においては、1件の火災が広範な被害につながる可能性が高いことから、事前防止策の大切さを伝えています。



市川市公式LINEアカウントに 防災機能が追加されました！

避難情報や避難所の混雑状況など、災害情報が幅広く入手できますので是非活用してください。「日頃の備え」もこちらからご覧になれます。

(メニューボタンイメージ)



日頃の備えは
ここをタップ！